

留学先国名 : イギリス

留学先学校名 : コヴェントリー大学

留学期間 : 平成 26 年 9 月 29 日 ~ 平成 30 年 5 月 8 日

4 月 28 日に今セメスターの最終試験が終了し、留学 2 年目（学部 1 年目）の全日程が終了しました。セメスター 1 の最終試験から今セメスターの授業と最終試験までを振り返り、報告したいと思います。

まず、セメスター 1 の最終試験ですが、結果はあまり良くありませんでした。学部課程に進んでから初めてのテストということもありましたが、エッセイ形式のテストで、慣れていなかった分かなり難しく感じました。テストに向けての準備としては授業でカバーした内容を復習することを中心に進めましたが、エッセイを書く練習もしておくべきだったと感じました。普段の課題と違って、制限時間あり、辞書なし、という自分の頭だけが頼りになる状況に置かれてエッセイを書くことは留学生にとってはかなり難しいです。結果はあまり良くなかったですが、今後のテスト準備のための良い勉強になったと思います。

最終試験前の昨年 12 月の冬季休暇にはスイスに行き、TEAM Marketing というスポーツマーケティング会社でヨーロッパサッカー界に深く携わっておられる日本人の方にお会いしました。将来は同様にヨーロッパサッカー界で仕事をしたいと考え、イギリスでスポーツマネジメントを専攻している自分にとっては、実際にその世界で活躍されている方の生の声は非常に貴重で、これからの大学生活の中で自分がしなければいけないことや得なければならぬものがはっきりしました。前回の報告書にも書きましたが、その場所、その国でしかできないことは必ずしておくべきだと改めて感じました。日本で学んでいれば、スイスに行って会いたい人に会うということはそう簡単にできませんが、イギリスにいたからこそそれが可能になりましたし、他にもイギリスにいる今だからこそできることを探していきたいと思います。新しい人に会いに行動することは割と勇気のいることですが、残りの留學生活でも会いたいと思う人にはどんどん会いに行きたいと思っています。

冬季休暇後の学業に関しては、課題などで忙しかったこともあってか、かなり早く時間が過ぎたように感じました。今セメスターで一番苦労したのは課題のグループワークで、「もしイギリスが EU を離脱したら、スポーツ界にどのような影響を与えるか」という題でレポートを書くというものでした。1 グループ 3 人で、僕がリーダーとしてまとめ役をしていたのですが、メンバー同士が書いたレポート内容の相違やコミュニケーションの取り方など、自分の思い通りに事が進まないことが多く、結果的にこの課題の点数も納得のいかないものになってしまいました。あまりグループのまとめ方が上手ではなかった自分の責任も大きいと思うので、次の機会に向けて、工夫をしながら改善できれば良いと思います。このグループワークは難しかったですが、興味深い題でリサーチをしていく上で、勉強になることが多かったですし、リーダーシップを鍛えていくためにもいい機会になりました。

セメスター2の最終試験は前回と同じエッセイ形式のものでした。結果はまだ出ていませんが、前回のテストに比べ、手応えはあるので、より良い結果であれば良いと思います。イギリスの大学ではたいていの場合、学部1年目の成績は卒業時の最後の成績には反映されませんが、2年生、3年生で良い成績を取るためにも、1年生のうちに授業や課題、テストなどに慣れておくことが大事だと思います。また、この1年を通して、課題にしても、テスト勉強にしても、できることは先にやっておく、何事も余裕を持って取り組むことが大事だと感じました。この経験を2年生に繋げていきたいと思っています。